

# 伸縮装置嵩上げ補修工の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業打合せ(KY活動)</li> <li>※現場責任者は、簡易風速計を携帯する。</li> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資機材等落下災害及び飛散防止ネット転倒に関するKY活動を必ず行い実施する。</li> <li>安全打合せ書による指示書の内容確認</li> <li>業務マニュアルの活用</li> <li>KY活動 その日使用する手持ち式振動工具に関するKY活動の実施及び手持ち式振動工具取扱説明書を用いて工具取扱確認を実施。</li> <li>安全データシートの確認</li> </ul>
はつり工	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニックにて荷台から飛散防止ネット(重量タイプ)を車線反対側に吊り下ろす。</li> <li>飛散防止ネット(重量タイプ)の組立</li> <li>施工箇所へ移動</li> <li>ロープ及び土壌よる転倒防止対策実施</li> <li>現場での確実な安全確認の実施体制(実施方法)</li> <li>■点検項目                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①ロープ固定：控えの位置は適切か、たるみが無いか、注意喚起がされているか</li> <li>②土壌固定：設置位置は適切か、設置数量は適切か、土壌質量(10kg)は適切か</li> <li>③飛散防止ネット：隙間が無いか、破損して無いか、設置位置は適切か</li> </ul> </li> <li>■現場での悪天候等による実施判断                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①前日：天気予報により工事担当者が判断</li> <li>②当日：天気予報により現場責任者と工事担当者が判断</li> <li>③現場での悪天候等：作業中断する場合は、両柱に土嚢1袋追加する。また中止にあつては、現場責任者から工事担当者へ報告を行い、工事担当者はHCSと調整の上、現場責任者へ中止指示を行う。</li> </ul> </li> <li>伸縮装置からの落下防止対策を行う。</li> <li>施工箇所を確認し、テープやチョークでマーキングを行う。</li> <li>既設の樹脂材をブレーカー、ピックなどを用いてはつりとる。</li> <li>ブラシやサンダーで、はつり箇所のケレン作業を行う。</li> <li>取り壊し検測を行う。</li> <li>深さ検測は3点で行い、平均深さを算出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者による作業を行う。(ユニック操作、玉掛)</li> <li>車線反対側の安全な場所で行い、留め金具等にてパネル連結を確実に行う。</li> <li>四隅に4人配置し、監視員の合図で移動を行う。(一般車に注意)</li> <li>車線反対側の両柱上部をロープにより車両または防護柵等へ固定する。且つ、同柱の1/3の位置にカラビナ付き土嚢(10kg)を2袋吊す。</li> <li>■点検項目①～③に沿って作業従事者全員で安全確認を実施する。</li> <li>※現場巡回、安全パトロールにおいても、必ず安全確認を実施</li> <li>■悪天候とは、強風：10分間の平均風速が毎秒10m以上の風、大雨：降雨量が50mm以上の降雨、大雪：1回の降雪量が25cm以上の積雪をいう。</li> <li>ウレタンフォーム、シート等を用いて養生を行う。</li> <li>施工の段取り等を施工前に十分打ち合わせる。</li> <li>はつり作業では保護メガネを使用する。</li> <li>サンダー使用時はキックバックに注意する。</li> <li>橋梁下に落下物が無い様にシート、ウレタンフォーム等で養生を行う。</li> </ul>
型枠設置・プライマー塗布	<ul style="list-style-type: none"> <li>下地が湿潤な場合、バーナーで強制乾燥させる。</li> <li>伸縮装置突合せ部に型枠を設置する。</li> <li>樹脂材の主剤と硬化剤を2:1の混合比で攪拌し、プライマーを作成する。</li> <li>刷毛を用いてプライマーを施工箇所に塗布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火器の設置</li> <li>計量器を用いて規定の混合比を遵守する。</li> </ul>
樹脂モルタル打設工	<ul style="list-style-type: none"> <li>規定の混合比で樹脂モルタルを混合攪拌する。</li> <li>主剤と硬化剤とカラーチナーを加え攪拌し色が均一になったら、珪砂を加えてさらに攪拌する。</li> <li>型枠に打設する。</li> <li>表面を金鏡で平坦に仕上げます。</li> <li>使用した材料の検測を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>混合比は別紙混合表を確認する。</li> <li>攪拌時、打設時は必ず軍手を着用する。</li> <li>主剤と硬化剤を混ぜると、速やかに硬化が始まるため</li> <li>攪拌機等の洗浄を速やかに行う。</li> </ul>
養生	<ul style="list-style-type: none"> <li>シート養生を3時間行う。</li> <li>型枠を取り外す。</li> <li>施工面積(m<sup>2</sup>)を検測する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シート養生は、風等での飛散防止処置を行う。</li> </ul>
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>はつりかす、材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。</li> </ul>

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
現場責任者	1名	ディスクサンダー	飛散防止ネット(重量)	樹脂モルタル		ヘルメット	消火器
作業員	3名	水タンク	土嚢、ロープ	ガンソリン		反射(自発光)チョッキ	
現場監視員	1名	発電機	ハンマードリル	養生シート		警笛	
先端監視員	1名	ブレーカー		型枠材		粉塵マスク	
		スタップ				保護メガネ	
		リボンロッド				耳栓	

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 作業に適した保護具を着装する。
- センターライン付近の作業は十分注意する。
- 各作業は、有資格者による作業を行うこと。
- はつり、清掃時、の小石等の一般車への飛散には、十分注意を行う。
- 火災防止処置を行う事。(消火器の設置)
- 保管等は、平積で保管する。
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 作業で使用しない工具は、発電機を切るかコンセントを抜き、誤作動がおこらないようにする。
- 手持ち式振動切創工具は切創手袋・切創防護衣を着装する。
- 一人作業の禁止
- 現場で作業手順を変更する場合は作業を中止して、現場責任者から工事担当者へ報告を行い、工事担当者はHSCと調整の上、現場責任者へ指示をだすものとする。

